

国分寺市の信州人



新会長就任挨拶

本年の総会におきまして、会長指名承認を頂きました新海です。ありがとうございます。微力な私ですが、会長に指名を頂き、大変光栄に存じます。

総会後に配付された令和元年度版長野県人会名簿「国分寺市の信州人」の役員名簿をご覧頂いてお気づきのことと思いますが、今年は、副会長以下、組織を縮小して、人材が育つまで少数精鋭で県人会を運営していくこととしております。

そこで皆さんにお願いがあります。それは、会の運営に携わった経験のある先輩方はお気づきのことと思いますが、地区委員を初めとした役員の方々の苦勞を、是非理解して頂きたいということです。

地区委員は、県人会行事の案内を、その都度配付する外、総会及び新年会の出欠を各戸に照会（地区委員に申し込む、となっていますが、自分から電話して来る人は、殆どいません）して出席者を取りまとめ担当委員に報告します。

毎年、4月には皆様から年会費をお預かりして、会計担当に渡します。総会の記念品、カレンダー、隔年で作成する名簿等を戸別に配付するのも地区委員の役割です。

また、各委員会委員は、総会、郷土料理を楽しむ会、国分寺まつり、新年会、手打ちそばの会等の運営に当たり、皆様を楽しむために、縁の下の力持ちに徹しています。

地区委員も各委員会委員もすべてボランティアです。その苦勞を是非ご理解ください。

それらを吹き飛ばすエネルギーは、会員の皆様が寄せる「ご苦勞様」の感謝の気持ちと、積極的に各行事に参加してご協力を頂けることとでございます。

この文章をお読み頂いて、地区委員の仕事を分かち合う気持ちが生まれてくれるといいですね。皆様が各行事に参加して、こんな楽しい行事ならまた参加したいと思われるような会にしたいと考えております。我々も、出来る限りの努力を惜しみませんので、どうぞよろしくお願い致します。



県人会が令和新時代に新体制で船出

令和に入って初の国分寺市長野県人会定時総会（第27回）が、6月16日（日）、市内の中国料理店「龍栄」で64人が参加、和やかな雰囲気の中で行われました。今回の総会は正副会長をはじめ、各委員会の正副委員長の交代、さらには委員会の発展的統合、新年度予算などを決める、令和新時代の新たなスタートとなる総会でした。すべての議案は全会一致で承認され力強く出発しました。

新海新会長の決意あふれるあいさつに続いて、長寿の祝い、懇親会へ。その冒頭、

平成30年度、すなわち「平成最後」の長野県人会の様々な活動を、プロジェクターの写真映像で紹介しました。これは会員の榎本功子さんの監修・編集のもと県人有志が協力して作り上げた上映時間約20分の力作で、山石朋子さんの軽やかなナレーションに耳を傾けながら、しばしの時間を楽しみました〔写真④〕。

また、歓談の間に長寿の祝い〔写真⑤〕や県人会が誇る混声合唱団「コールりんどう」の息のあった歌声が披露されました。



定時総会で決まった長野県人会の新役員（正◎副○）

会長	総務委員会
副会長	〃
〃	〃
監査委員会	親睦委員会
〃	〃
会計委員会	
〃	

☆総会で長寿をお祝いされた方々（敬称略）



出身校の開智小学校が国宝に

令和元年5月17日、松本市にある旧開智小学校舎(写真)が、明治以降の擬洋風学校建築として文化的意義が高いと初めて国宝に指定するよう、文化審議会から柴山文科相に答申されたと報じられた。

開智小学校は私の出身校で、明治天皇の玉座室や螺旋階段の高樓の清掃を思い出す。明治以降の建物での国宝指定は、旧東宮御所(現迎賓館赤坂離宮)と旧富岡製糸場に次いで3件目となります。



開校当時の周辺の小学校は、1校当たり2人程度の教員しかいなかったようだが、開智小学校は30人以上の教員がそろい生徒も1000人を超える全国的にも大規模なものだった。

工事費は当時のお金で1万1千円。現在の貨幣価値に換算すると優に1億円を超える大規模なもの。しかもその建設資金の7割が松本町(当時)の住民からの寄付、残りの3割は特殊寄付金や廃仏毀釈で取り壊されたお寺の古材を売却するなどして調達したといわれている。言ってみればおらが町の自分たちで作った学び舎というわけだ。

ちなみに小学校名の「開智」は、「其身を修め智を開き才芸を長ずるは、学にあらざれば能わず」の文に由来するといわれている。

国宝指定で脚光を浴びることになった開智小学校出身ということでとてもうれしく思うとともに、信濃教育の礎を作った開校当時の人々の意気込みが目に浮かぶようだ。松本城と旧開智小学校舎の国宝2本柱で木造建築物の文化財を大切に守ってもらいたいと願っている。

第6回 国分寺市長野県人会交流文化展と作品募集のお知らせ

- 主 催 国分寺市長野県人会「白樺」
日 時 令和元年10月15日(火)~19日(土)
場 所 本多公民館 集会展示室(1F)
作 品 油絵、水彩画、水墨画、書道、写真、陶芸、人形、手芸、短歌、俳句、その他
出展資格 長野県人会員、賛助会員
出展数 1点(ただし同好会会員は2点まで)
出展参加費 500円 作品搬入時に頂きます

おらが町Today ⑤ 高森町

中央アルプスと南アルプスに囲まれ、天竜川がその間を流れる信州・伊那谷。高森町はこの伊那谷の南部、天竜川の西岸に広がる段丘の街です。

西に中央アルプスに続く本高森山(1889.8m)がそびえ、高森町はこの最高点から東に向かって、ゆるやかに扇状地をつくり広がっています。

アルプスの上昇によって断層ができ、やがて川の掘り込みによって扇状地ができ、扇状地はまた新たな断層で切られ、階段のようになり、さらにそこを川が彫り込むといった具合に、何十万年にもわたる気の遠くなるような時間をかけ、特有の地形が作られました。

この段丘の地形は変化に富んだ美しい自然を育み、さらに人々の暮らしにも、様々な恩恵を与えてきました。町の東には仙丈ヶ岳、塩見岳、赤石岳など南アルプスの3千メートル峰を望むことが出来、この山並みは四季折々に色を変え、目を楽しませてくれるだけでなく、空間をさえぎり、一つのまとまりのある風景(遠景)をつくる壁の役目をしています。2つの山脈に囲まれた段丘の町「高森町」は、いわば大きな自然の箱庭そのものなのです。

また、誰でも一度は食べたことのある地元産で独特の上品な味が特徴の市田柿は、地域名を冠した特産品を知的財産として保護する「GI制度」に県下初の認定を受け、全国へ出荷されています。



<新会員紹介>



<編集後記>

今回から編集後記を担当することになった。昨年の猛暑に続いて今年は記録的な長雨で梅雨明け宣言が大幅に遅れた。地球温暖化の影響か異常気象が常態化しているのが心配だ。長野県人会は役員改選で大幅な人事交替があった。退任された方々本当にごくろうさまでした。これからも県人会活動には積極的にご参加されることを希望します。私の好きなテレビ番組で「カンブリア宮殿」というものがある。村上龍がMCを務め、最後に彼の編集後記で終了するのだが、いくら好きで毎週見ている彼のような編集後記は書けそうもない。これからよろしくお願ひします。